

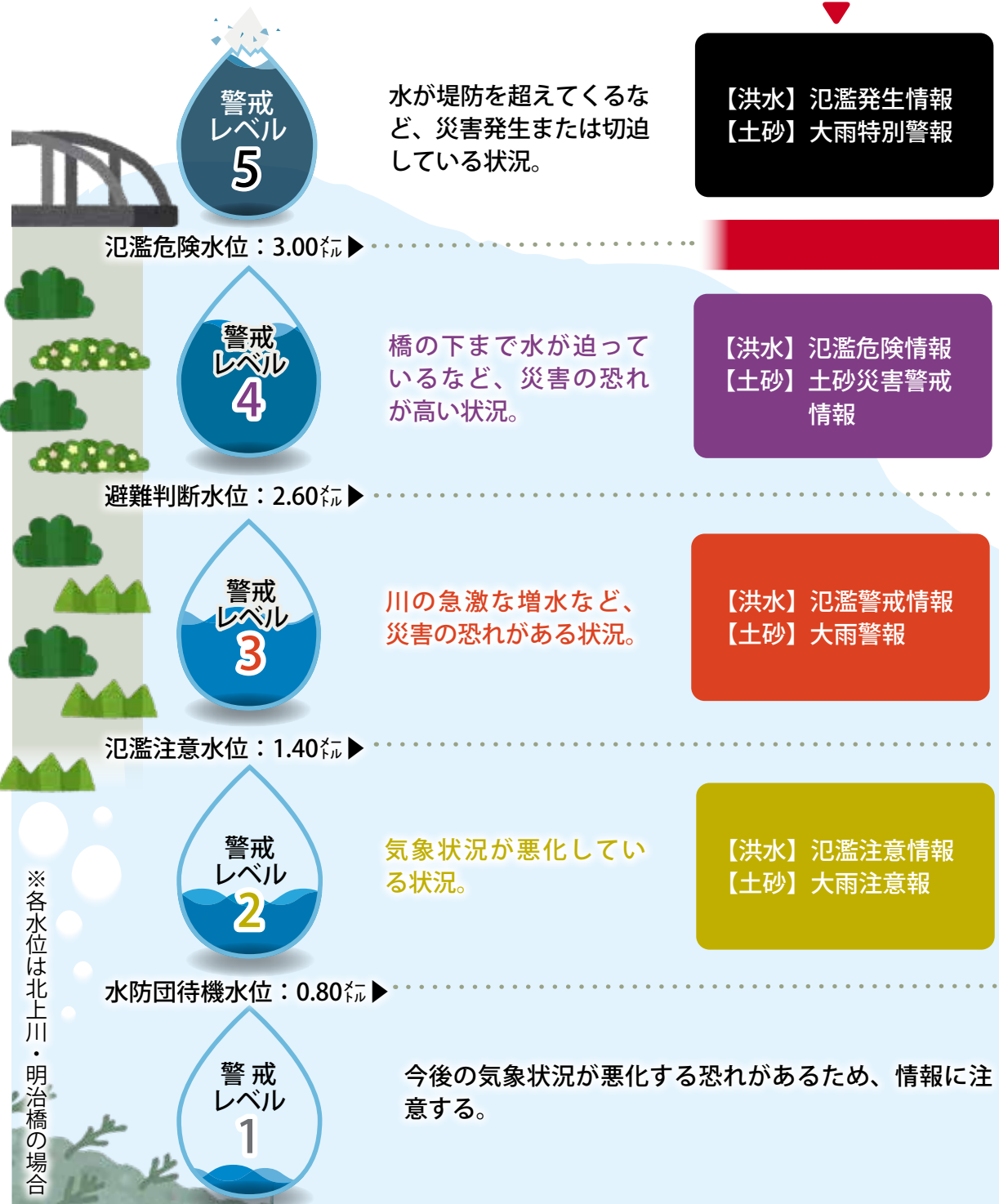
保存版 大切な命を守るため 正しい避難行動を!

5月から発令する避難情報が変わりました。台風や豪雨による洪水や土砂災害に備え、「自分の命は自分が守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと取るべき避難行動を普段から確認しましょう。【問】危機管理防災課 ☎603-8031

気象情報と避難情報

水の災害の警戒レベルは全国共通で5段階に設定されています。そのうち、警戒レベル4の「避難勧告」は廃止されました。これからは、「避難指

示」で全員必ず避難しましょう。気象情報や避難情報は、各警戒レベルに合わせて、テレビや気象庁ホームページなどで提供します。



発表される 洪水・土砂災害情報

【洪水】氾濫発生情報
【土砂】大雨特別警戒情報

市からの避難情報

緊急安全確保

【洪水】氾濫危険情報
【土砂】土砂災害警戒情報

避難指示

【洪水】氾濫警戒情報
【土砂】大雨警戒情報

高齢者等避難

【洪水】氾濫注意情報
【土砂】大雨注意情報

事前に確認しよう
盛岡市防災マップ

同マップは、平成30年に各家庭に配布しました。市ホームページでも公開中。自宅や学校、職場などの周辺にどのような災害の危険性があるのか、また、最寄りの避難場所や避難経路の確認など、ご家庭での「マイタイムライン(9ページ)」の作成にご活用ください。

取るべき行動 ~避難とは「難」を「避」けること~

安全な場所にいる人は、無理に避難場所に行く必要はありません。また、避難先は、市が避難場所と指定している施設だけとは限りません。親戚や知人宅など、状況に応じて安全な場所はどこなのか考えて避難しましょう。

命の危険! 直ちに安全の確保を

すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。建物の上階や崖から離れた部屋に移動しましょう。



危険な場所から全員避難

危険な場所にいる全員が避難。普段から相談し、安全な親戚や知人宅がある場合はそこに避難しましょう。避難先がない場合は、市が指定する避難場所に避難しましょう。



危険な場所から高齢者などは避難

高齢者など避難に時間がかかる人は避難。普段から相談し、安全な親戚や知人宅がある場合はそこに避難しましょう。避難先がない場合は、市が指定する避難場所に避難しましょう。



自らの避難行動を確認する

避難場所や避難ルート、情報の入手手段、避難のタイミングの再確認などをしましょう。



災害の心構えを高める

防災気象情報などの最新情報に注意し、災害への心構えを高めましょう。



マイタイムラインを作成しよう

一人ひとりが、どのタイミングでどのような避難行動を取るかを時系列に整理するのが「マイタイムライン」です。各家庭の状況に応じ、避難のタイミングをあらかじめ決めておくことで、災害時の適切な行動につながります。近隣の避難先・経路などについて、家族で話し合い作成しておきましょう。

状況を的確に判断し、命を守る行動を!

- 記載例: できるだけ高い場所へ移動する

安全な道を通って避難しよう!

- 記載例: 隣近所に声を掛け合って避難する

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に避難しよう!

- 記載例: 家族と連絡を取る

家族全員の予定を細かく確認しよう!

- 記載例: 非常持ち出し品を確認する

テレビ・インターネットなどで気象情報を確認しよう!

- 記載例: 台風の進路に注意する

防災マップで家や勤務先に色が付いたら!

基本の避難行動を確認!

市防災マップで自分の家や勤務先、学校がある場所は、災害などが発生しやすい黄・赤色などで塗られていますか?

はい → 災害の危険があるので、原則、立ち退き避難(安全な場所に避難)が必要です。

いいえ → 色が塗られていなくても、川や崖の近くに住んでいる人は、避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

正しい情報を収集しましょう

災害が起きたときに身を守るためには、災害の種類に応じ、住んでいる場所や家族構成などを考慮した行動が必要です。安全に避難するために必要な情報収集の手段を紹介します。

ホームページ・テレビ・インターネット

▶ **テレビなどで随時確認**
各種気象情報は気象庁の公式ホームページで確認できる他、NHKではdボタンを押すと、河川の水位なども確認できます。

▶ **気象庁提供サイト「キキクル」**
雨による災害の危険度を5段階で色分けして、地図上にリアルタイムで表示します。災害から自分自身や大切な人の命を守ることができる情報です。

事前に確認!

指定緊急避難場所と指定避難所

「指定緊急避難場所」は、災害の危険から緊急的に逃れるために指定された場所です。一方、「指定避難所」は、避難した人が浸水や土砂崩れなど災害の危険性がなくなるまで一時的に滞在する場所で、災害発生時の恐れが高い地域から順次、開設します。災害発生時は、市ホームページやテレビなどで、避難所開設情報を確認してください。

水位計とダム放流警報音

▶ **水位計の活用**
市内を流れる河川の増水状況を、リアルタイムで確認できます。

▶ ダムによる「緊急放流」

想定以上の雨量によりダムで水を貯められなくなると、ダムに流れ込む水をそのまま放流することになり、河川の水位が急激に上昇します。その場合は、早急な避難が必要です。なお、北上川や栗石川では、ダムの放流警報を行っています。大規模洪水時の緊急放流では、より緊迫感のある「緊急効果音」を鳴らします。

北上川五大ダムからの放流警報音を確認

北上川五大ダムからのリアルタイム情報

ご注意ください!

台風や豪雨の際、河川などの増水状況を直接見に行くことは非常に危険です。決して河川には近づかないでください。河川の水位やダムの放流状況はホームページやテレビなどで確認し、避難する判断材料としてください。